

エコアクション21 環境経営レポート

2023年度版

（対象期間：2023年9月～2024年8月）



発行日：2024年 11月 11日

株式会社 ケイ・エスクラフト工業

目 次

1. 組織の概要	-----	1
2. 環境経営方針	-----	2
3. 環境経営目標(2023年度)	-----	3
4. 環境経営計画(2023年度)	-----	4
5. 実施体制	-----	5
6-①. 環境経営計画を実施した取組内容	-----	6
6-②. 環境経営計画を実施した取組内容	-----	7
7-①. 環境経営目標の実績	-----	8
7-②. 環境経営目標の実績(グラフ)	-----	9
8. 次年度の環境経営目標(2024年度)	-----	10
9. 次年度の環境経営計画(2024年度)	-----	11
10. 環境経営目標・環境経営計画の取組結果と その評価、次年度の目標・取組計画	-----	12
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	-----	13
12. 代表者による取組状況の全体評価と見直しの結果	-----	13

1.組織の概要

- 1) 事業所名
代表者名
株式会社 ケイ・エスクラフト工業
代表取締役 川口 敬介
- 2) 所在地
【本社・倉庫】
〒814-0155 福岡県福岡市城南区東油山6丁目5-29
- 3) 環境管理責任者
担当者氏名
連絡先
専務取締役 川口 輝美啓
事務(総務) 西村 裕菜
TEL:092-566-1506 FAX:092-566-1621
Eメールアドレス:nishimura@ks-craft.com
- 4) 事業の内容
水処理機械設備の企画・設計・施工・管理
・機械器具設置工事業 福岡県知事許可(特-4)第9106号
・管工事業 福岡県知事許可(特-4)第9106号
・鋼構造物工事業 福岡県知事許可(特-4)第9106号
・水道施設工事業 福岡県知事許可(特-4)第9106号
- 5) 事業の規模
2024年度総売上額：503百万円

区分	単位	本社	倉庫
従業員数	人	12	無人
延床面積	m ²	259.4	15

認証の対象範囲

- 6) 事業年度
9月1日～翌年8月31日
- 7) 対象組織(事業所)
本社・倉庫
- 8) 対象活動
・機械器具設置工事業
・鋼構造物工事業
・管工事業
・水道施設工事業

2.環境経営方針

株式会社ケイ・エスクラフト工業は、建設工事を通じて社会に貢献し、私達人類の源である「水」を取り扱う企業として自然環境との調和や保全を心がけ、人と地球に優しい、地域に根ざした企業活動を行います。この為、環境を企業経営の大きな柱として位置づけ、環境経営システムを構築して運用の中で適時見直しを行いながら、環境経営の継続的改善に努めます。

1. 次の項目を重点項目として取り組みます。

(1) 地球環境保護のため、電力・燃料等のエネルギー・リサイクル活動を推進し、二酸化炭素排出量を削減します。



(2) 3R(リデュース:廃棄物の削減)(リユース:再使用)(リサイクル:再生利用)を基に二酸化炭素の排出量を削減します。



(3) 水使用量を把握し、削減します。



(4) 化学物質使用量を把握し、適正使用・適正管理に努めます。



(5) 環境に配慮した設計・施工を推進します。



(6) 社員のワーク・ライフ・バランスを重視し、働きやすい労働環境作りに努めます。



2. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。

制定日 2017年9月1日

改訂日 2020年12月1日

株式会社 ケイ・エスクラフト工業

代表取締役 川口 敬介

3.環境経営目標(2023年度)

- ・当社の事業活動を踏まえて、発生する環境負荷の削減や社会貢献活動、本業を活かした環境活動を含め、環境目標を以下に示す5項目15目標を設定して取り組んだ。
- ・基準年は前年度実績を基準として設定する。

環境経営目標	サイト 区分	単位	基準年	単年度目標	中長期目標	
			2022年度	2023年度 (0.5%削減)	2024年度 (1%削減)	2025年度 (1.5%削減)
			2022年9月～ 2023年8月	2023年9月～ 2024年8月	2024年9月～ 2025年8月	2025年9月～ 2026年8月
1.二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO2	25,052	24,927	24,802	24,678
電気使用量の削減	事務所	kWh	13,499	13,432	13,364	13,298
	現場	kWh	2,359	2,347	2,335	2,324
ガソリン使用量の削減	全社	L	7,462.55	7,425	7,388	7,351
ガソリン(燃費把握)		km/L	11.0	燃費把握に努める		
軽油使用量の削減	全社	L	19.51	19	19	19
灯油使用量の削減	全社	L	37	使用量の把握と削減に努める		
2.廃棄物排出量の削減						
一般廃棄物の排出量削減	事務所	kg	258.6	257	256	255
産業廃棄物の排出量削減	現場	t	15.138	排出量削減取組と実績把握		
リサイクル率の向上		%	96	95以上	95以上	95以上
3.水使用量の削減	事務所	m³	61	60.7	60.4	60.1
	現場	m³	2.1	節水に努め、使用量把握		
4.化学物質の適正使用・適正管理	全社	－	－	SDSシートにより化学物質使用状況を把握し、 適正使用・適正管理に努める		
5.課題とチャンスからの環境目標						
従業員の資格取得・教育	全社	－	－	実績把握・その都度支援		
電子化による業務効率化 と環境負荷の軽減	全社	－	－	電子マニフェストの利用		

備考) ・購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力(株)の2020年度調整後排出係数0.479kg-CO2/kWhを用いた。
・全社＝事務所＋現場

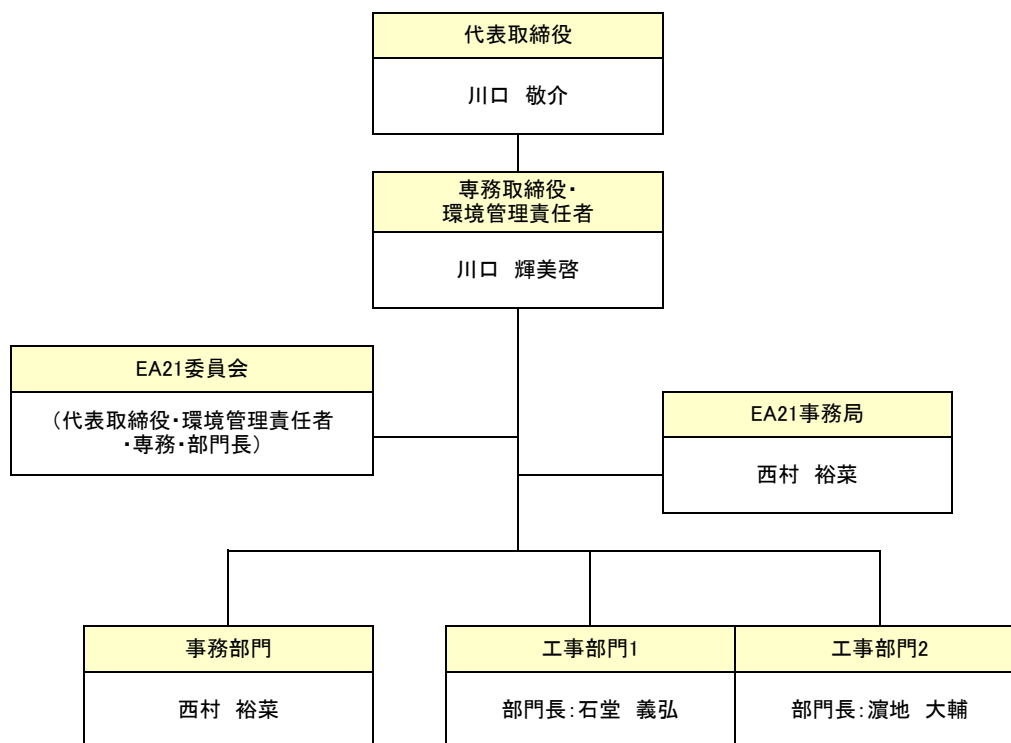
4.環境経営計画(2023年度)

・環境目標を達成するために、以下の具体的な取組と担当者を決めて、全社を挙げて取り組んだ。

環境経営目標	取組目標	サイト 区分	達成手段	担当者 (責任者)	スケジュール
1.二酸化炭素排出量 の削減	電気使用量の削減	事務所	エアコンを節電モードにして使用する	事務担当	通年
			電気はこまめに消灯・昼休みは消灯	事務担当	通年
			週末や休業日は機器類のコンセントを外す	事務担当	通年
		現場	電気はこまめに消灯	現場担当	通年
	ガソリン使用量の削減	全社	エコドライブの徹底 定期的な車両整備の実施	全社員	通年
	ガソリン(燃費把握)	全社	月末にガソリンの給油と走行距離の報告	事務担当	通年
	軽油使用量の削減	現場	エコドライブの徹底 定期的な車両整備の実施	現場担当	通年
	灯油使用量の削減	現場	使用実績を把握する	現場担当	通年
2.廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	事務所	マイカップの使用	事務担当	通年
			分別の徹底	事務担当	通年
	産業廃棄物排出量の削減 (リサイクル率の向上)	現場	産業廃棄物の削減(梱包方法の簡素化)	現場担当	通年
			マニフェストの管理	現場担当	通年
3.水使用量の削減	水使用量の削減	事務所	節水シールと貼り紙で節水の周知徹底	事務担当	通年
		現場	出しっぱなしにしない 節水の呼びかけ	現場担当	通年
4.化学物質の適正使用 ・適正管理	化学物質の適正使用 ・適正管理	事務所	倉庫の在庫管理と化学物質量の把握	現場担当	通年
		現場	SDSシートで使用数を記録・管理	現場担当	通年
5.課題とチャンスから の環境目標	従業員の資格取得・教育	全社	技術向上のための資格取得の推進・支援	-	通年
	電子化による業務効率化 と環境負荷の軽減	全社	電子マニフェストの利用	-	通年

備考)全社＝事務所＋現場

5.実施体制



所属	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者	・代表者として環境経営全般について責任と権限をもつ ・環境方針を作成・見直し、従業員に周知 ・環境管理責任者、EA21事務局を任命 ・環境への取組を実施するための資源(ヒト・モノ・カネ・情報)を準備 ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施
環境管理責任者	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上 ・毎年、環境目標、環境活動計画実施体制等の見直しの必要性を検討 ・EA21委員会を開催し、取組状況確認、評価 ・問題点が発生した場合は担当者と協議して是正処置を検討する
EA21委員会	・3か月に1回開催し、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況を確認・評価 ・問題点が発生した場合は担当者と協議して是正処置を検討 ・環境情報を収集し発信する
EA21事務局	・環境管理責任者をサポート ・毎月の取組データを記録し、EA21委員会資料を作成 ・環境情報を収集し発信
事務部門 工事部門	・環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全員に周知 ・環境目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進 ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施 ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施 ・自部門の教育・訓練を実施する。
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

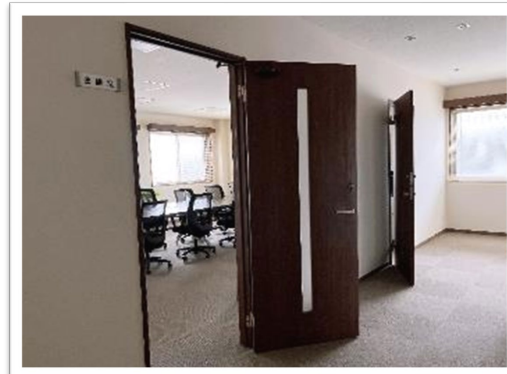
6-①.環境経営計画を実施した取り組み内容

<資源使用量の削減>

電気使用量削減



エアコンを節電モードで運転



使用していない場所の消灯

ガソリン・軽油使用量の削減



エコドライブの取組



ハイブリッド車導入の検討

水使用量の削減



貼り紙やシールによる呼びかけ



現場でも節水の徹底

6-②.環境経営計画を実施した取り組み内容

＜廃棄物排出量の削減と省資源＞

一般廃棄物排出量の削減



分別の徹底、裏紙の再利用

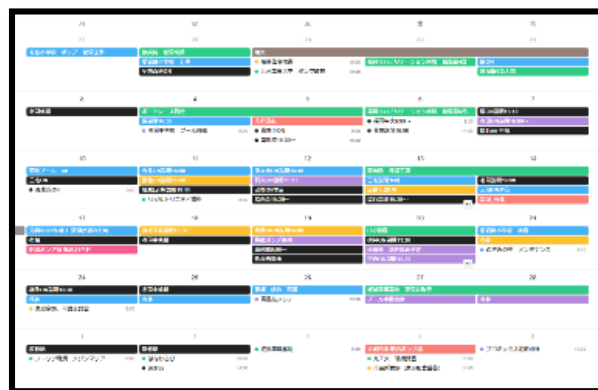


マイカップの使用

ペーパーレス化への取り組み



電子 manifests の利用



スケジュール管理アプリの利用

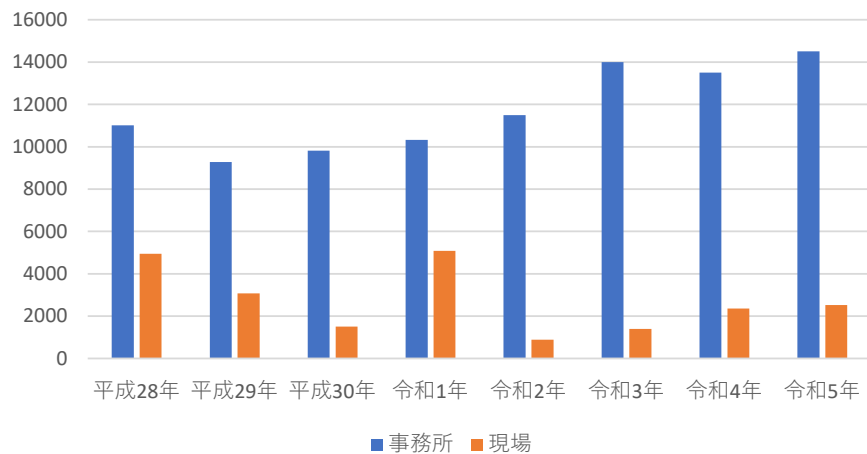
7.環境経営目標の実績(2023年度)

環境経営目標	サイト 区分	単位	2023年度 (2023年9月～2024年8月)		目標達成率	目標達成 判定
			目標	実績		
1.二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO2	24,927	27,441	91%	△
電気使用量の削減	事務所	kWh	13,432	14,510	93%	△
	現場	kWh	2,347	2,524	93%	△
ガソリン使用量の削減	全社	L	7,425	8,195	91%	△
ガソリン(燃費把握)	全社	km/L	燃費把握	11.9	-	-
軽油使用量の削減	全社	L	19	104.35	18%	×
灯油使用量の削減	全社	L	使用量把握	0	-	-
2.廃棄物排出量の削減						
一般廃棄物の排出量削減	事務所	kg	257	251.6	102%	○
産業廃棄物の排出量削減	現場	t	排出量削減取組と 実績把握	28.438	-	-
リサイクル率の向上		%	95	96	101%	○
3.水使用量の削減	事務所	m³	60.7	62	98%	△
	現場	m³	使用量把握	10.5	-	-
4.化学物質の適正使用・適正管理	全社	-	適正使用・適正管理に努める			
5.課題とチャンスからの環境目標						
従業員の資格取得・教育	全社	件	実績把握・ その都度支援	8	-	-
電子化による業務効率化 と環境負荷の軽減	全社	%	電子マニフェスト の利用	57.1	-	-
備考)・目標達成率の計算方法 削減目標:目標÷実績×100、増加目標:実績÷目標×100 ・目標達成の判定区分 ○:100%以上、△:80%以上100%未満、×:80%未満、-:判定不能 ・購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力(株)の2020年度調整後排出係数0.479kg-CO2/kWhを用いた。 ・全社=事務所+現場						

7ー②.環境経営目標の実績(グラフ)

単位：kwh

電気使用量

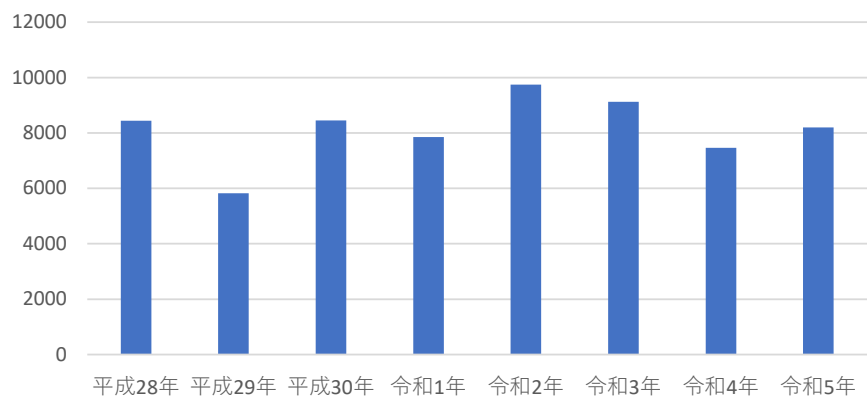


今年度は目標を達成することができなかった。
近年は夏の暑さが厳しく、命を守るためにもエアコンやサーキュレーターの使用は必要なことなので、事務所と現場の目標数値を見直すことにした。

目標を達成することができなかった。
市外や県外の現場が多かったことも原因として考えられる。現在、社用車を何台かハイブリッド車に入れ替えることを検討しているので来年は目標達成できるようにしたい。

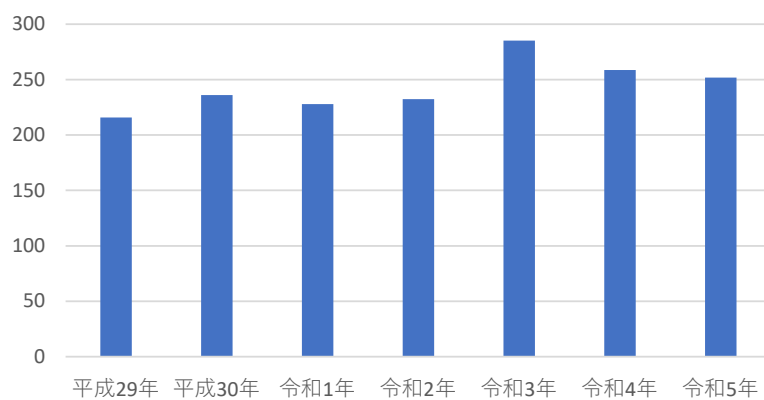
単位：L

ガソリン使用量



単位：kg

一般廃棄物排出量

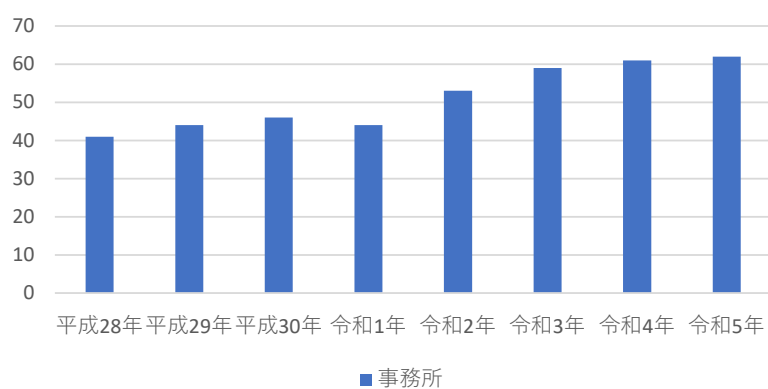


2年連続で目標を達成することができた。ペーパーレスに取り組んだことが大きかったのではないと思う。引き続き可能なものは削減していけるように努める。

昨年より使用量が少し増加してしまった。
夏の暑さが厳しく雨の日も少なかったため、打ち水や植物への水やりが影響していると考えられる。ここ数年は目標未達成が続いているので、来年度こそ少しでも削減できるように頑張りたい。

単位：m³

水使用量



8.次年度の環境経営目標

- ・当社の事業活動を踏まえて、発生する環境負荷の削減や社会貢献活動、本業を生かした環境活動を含め、環境経営目標は本年度(2023年度)より更に削減を目指して以下に示す5項目15目標を設定した。
- ・目標値は直近3年間の実績の平均を基準として設定する。

環境経営目標	サイト 区分	単位	基準年	単年度目標	中長期目標	
			2021年度～ 2023年度平均	2024年度 (0.5%削減)	2025年度 (1%削減)	2026年度 (1.5%削減)
			2021年9月～ 2024年8月	2024年9月～ 2025年8月	2025年9月～ 2026年8月	2026年9月～ 2027年8月
1.二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO2	27,295	27,159	27,023	26,888
電気使用量の削減	事務所	kWh	14,002	13,932	13,862	13,793
	現場	kWh	2,093	2,083	2,072	2,062
ガソリン使用量の削減	全社	L	8,259.01	8,218	8,177	8,136
ガソリン(燃費把握)		km/L	11.45	燃費把握に努める		
軽油使用量の削減	全社	L	131.10	使用量の把握と削減に努める		
灯油使用量の削減	全社	L	74.66	使用量の把握と削減に努める		
2.廃棄物排出量の削減						
一般廃棄物の排出量削減	事務所	kg	265.2	264	263	261
産業廃棄物の排出量削減	現場	t	21.2	排出量削減取組と実績把握		
リサイクル率の向上		%	95.3	95以上	95以上	95以上
3.水使用量の削減	事務所	m ³	60.6	60.3	60.0	59.7
	現場	m ³	5.16	節水に努め、使用量把握		
4.化学物質の適正使用・適正管理	全社	—	—	SDSシートにより化学物質使用状況を把握し、 適正使用・適正管理に努める		
5.課題とチャンスからの環境目標						
従業員の資格取得・教育	全社	—	—	実績把握・その都度支援		
人材不足の改善	全社	—	—	人材の確保と受け入れ体制の整備		

備考) ・購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力(株)の2020年度調整後排出係数0.479kg-CO2/kWhを用いた。
 ・全社＝事務所＋現場

9.次年度の環境経営計画

・次年度の環境経営計画は本年度の取組を継続しつつ、いくつかの項目を変更・追加した。

環境経営目標	取組目標	サイト 区分	達成手段	担当者 (責任者)	スケジュール
1.二酸化炭素排出量 の削減	電気使用量の削減	事務所	エアコンを節電モードにして使用する	事務担当	通年
			電気はこまめに消灯・昼休みは消灯	事務担当	通年
			週末や休業日は機器類のコンセントを外す	事務担当	通年
		現場	電気はこまめに消灯	現場担当	通年
	ガソリン使用量の削減	全社	エコドライブの徹底 定期的な車両整備の実施	全社員	通年
	ガソリン(燃費把握)	全社	月に最低1回の給油と月末に走行距離の報告	事務担当	通年
2.廃棄物排出量の削減	軽油使用量の削減	現場	エコドライブの徹底 定期的な車両整備の実施	現場担当	通年
	灯油使用量の削減	現場	使用実績を把握する	現場担当	通年
	一般廃棄物排出量の削減	事務所	使用済み切手の回収	事務担当	通年
			分別の徹底	事務担当	通年
3.水使用量の削減	水使用量の削減	現場	産業廃棄物の削減(梱包方法の簡素化)	現場担当	通年
		現場	電子マニフェストの利用	現場担当	通年
4.化学物質の適正使用 ・適正管理	化学物質の適正使用 ・適正管理	事務所	節水シールと貼り紙で節水の周知徹底	事務担当	通年
		現場	出しっぱなしにしない 節水の呼びかけ	現場担当	通年
5.課題とチャンスから の環境目標	化学物質の適正使用 ・適正管理	事務所	倉庫の在庫管理と化学物質量の把握	現場担当	通年
	SDSシートで使用数を記録・管理	現場		現場担当	通年
5.課題とチャンスから の環境目標	社員の資格取得・教育	全社	技術向上のための資格取得の推進・支援	-	通年
	人材不足の改善	全社	社員の負担軽減や事業拡大ための増員	-	通年

備考)全社＝事務所＋現場

10.環境経営目標・環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の目標・取組計画

1.二酸化炭素排出量の削減

基準年度より0.5%削減（2023年度目標：24.927kg-CO₂）

活動項目		実施状況				年間評価又は 3か月間評価(取組開始時)	次年度の取組計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
電気使用量 削減	エアコンを節電モードにして使用する	○	○	○	○	取り組みは常に実施していたが、夏季の暑さが厳しく、かなりエアコンを使用してしまったため、節電がなかなか難しかった。 昨年より市外や県外の現場に出ることが多く、エコドライブや同乗を心掛けていてもガソリン使用量は増加してしまった。燃費で見ると少し良くなっている、取り組みは意識して続けていきたい。	近年のエアコンの使用状況も考えて目標値を見直す。 ガソリン使用量削減を考え、ハイブリッド車の導入を進める。
	電気はこまめに消灯・昼休みは消灯	○	○	○	○		
	週末や休業日は機器類のコンセントを外す	○	○	○	○		
ガソリン使用 燃費改善	エコドライブの徹底	○	○	○	○		
	定期的な車両整備の実施	○	○	○	○		
	月末にガソリンの給油と走行距離の報告	○	○	○	○		
軽油使用量 削減	エコドライブの徹底	○	○	○	○		
	定期的な車両整備の実施	○	○	○	○		

2.廃棄物排出量削減

基準年度より0.5%削減（2023年度目標：一般廃棄物は257kg
産業廃棄物は削減取組と実績把握）

活動項目		実施状況				3か月間の評価	次年度の取組計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
一般廃棄物 排出量削減	マイカップの使用	○	○	○	○	2年連続で目標を達成することができた。	引き続き、分別と3Rに取り組みしていきたい。
	分別の徹底	○	○	○	○		
産業廃棄物 排出量削減	産業廃棄物削減(梱包方法の簡素化)	○	○	○	○		

3.水使用量削減

基準年度より0.5%削減（2023年度目標：事務所60.7m³、現場は使用量把握）

活動項目		実施状況				3か月間の評価	次年度の取組計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
節水シールと貼り紙で節水の周知徹底		○	○	○	△	夏季は気温がかなり高く、植物への水やりやアスファルトへの打ち水で、水を使ってしまった。	天候や気温によって使用量が変わるのはしかたがないと思うので、それ以外の場面(手洗いやトイレ等)で注意していきたい。

4.化学物質使用量の削減

適正管理の継続実践

活動項目		実施状況				3か月間の評価	次年度の取組計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
倉庫の在庫管理と化学物質量の把握		○	○	○	○	現場の担当者により、適切な対応がされていた。	担当者による適切な対応を継続する。
SDSシートで使用数を記録・管理		○	○	○	○		

5.課題とチャンスに関する目標

活動項目		実施状況				3か月間の評価	次年度の取組計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
技術向上のための資格取得の推進・支援		○	○	○	○	希望者にはしっかり教育を受けられるように支援した。	引き続き社員の教育に努める。
電子マニフェストの利用		○	○	○	○	ペーパーレス化を進めることができた。	電子マニフェストの採用率を上げる。
社員の負担軽減や事業拡大のための増員		-	-	-	-	2024年度より追加。	人員の確保と受け入れ体制の整備を進める。

○:実施できた △:十分とは言えなかった ×:不十分であった -:判定不能

11.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反・訴訟・外部からの苦情・要望はありませんでした。

また、関係機関からの違反・指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

適用される法規等	適用される事項（施設・物質・活動等）	判定
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理	○
建設リサイクル法	建築4品目の分別解体と再資源化	○
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守	－
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守	－
フロン排出抑制法	3ヶ月ごとに簡易点検を行う フロン類の引き渡し実績はない	○

判定区分 ○:遵守 ×:不遵守 -:今年度は該当なし

12.代表者による取組状況の全体評価と見直しの結果

昨年よりペーパーレス化を進め、電子マニフェストやスケジュール管理アプリを活用することで廃棄物排出量の削減を実現できました。一方で電気、ガソリン、水などの使用量は昨年より増えており、目標未達成となってしまいました。年々夏季の暑さが増していることに伴い、電気や水の使用量削減が難しくなっていると感じています。今回は目標値の設定も見直しているので可能な範囲で省エネに取り組み、来年は目標を達成できるよう努めていきます。ガソリンに関しては使用量削減のためハイブリッド車の導入を検討・実施しており、今後の効果に期待したいと思います。また、資格の取得や講習の受講は会社のためだけでなく、各個人のためにもなると感じているので、引き続き推奨と支援を続けていきたいです。

見直し事項	変更の必要性	変更事項
環境経営方針	有・ 無	－
環境経営目標、環境経営計画	有 ・無	環境経営方針に合わせて変更する
実施体制	有 ・無	組織体制の変更に合わせて変更する
その他	有・ 無	－

株式会社ケイ・エスクラフト工業

代表取締役 川口 輝美啓

注: 当社の代表者は2024年4月に川口敬介より、川口輝美啓へ変更になりました。
環境経営レポートは2023年度実績を記載しているため、環境経営方針や組織体制は2023年度の状態に記載しています。
代表者の見直しについては2024年度に実施しており、川口輝美啓が評価しているため、変更後の内容で記載しました。